

日本語表現論 (Japanese Expression)		1年・後期・2単位・必修 3専攻共通・担当 刀田 絵美子	
〔準学士課程(本科 1-5年) 学習教育目標〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-1 (80%), A-1 (20%)	〔JABEE 基準〕 (f), (a)	
〔講義の目的〕 技術者は、各自の専門分野や研究内容を、他者に分かりやすく説明する能力が求められる。また社会人として、あらゆる場面・状況において、物事を説明したり様々な文書を作成したりする能力が要求される。多様なメディアが発達した現在こそ、各人が自分の「ことば」を見直す必要がある。本講義では、日本語による表現能力(書く・話す・聞く)を養成することを目的とする。			
〔講義の概要〕 様々な文章を書くための基本的な知識を身につける。様々な種類の文章を書くことを通して表現力を高めるとともに、他の受講生の作品を読むことを通して、「分かりやすい」表現について理解を深める。 小グループでの発表や、クラスでの発表を通して、場面に応じた表現方法を身につける。			
〔履修上の留意点〕 表現するということは、日常の学習や生活に密着した問題である。日頃自分たちが話す言葉、目にする文章の表記や形式・表現方法について、問題意識を持っておくことがのぞましい。			
〔到達目標〕 1) 「書く」「話す」「聞く」という表現において、基本的な知識と技法を身につける。 2) 様々な文書の形式を理解し、場に応じた表現について考え、工夫することができる。			
〔評価方法〕 授業中の演習課題提出(60%)と試験(40%)で総合評価する。 補助教材や課題プリントは全てA4ファイルに保存し、随時提出することとする。			
〔教科書〕 プリントを使用する。 〔補助教材・参考書〕 国語辞典を一冊準備しておくこと。			
〔関連科目〕 各自の専門科目を含めた全ての科目。 国語等の科目だけでなく、受講生の研究内容紹介などもふまえて講義を行う。			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス / 自己紹介の方法	講義の進め方等のガイダンス、「よい」表現とは何か / 自己紹介文の作成	
第2週	自己紹介の方法	自己紹介文から構想メモを作成し、発表し合う。好印象を与える話し方について考える。	
第3週	志望動機書	「常用漢字」や送り仮名、外来語の表記に留意しつつ、志望動機書を作成する。誤字・脱字に対する注意力を養う。	
第4週	志望動機書	志望動機書を読み合い、印象に残る文章について考える。推敲の仕方・校正記号について理解する。	
第5週	描写の方法	事物や動作を文章で描写する能力を養い、発表し合う。	
第6週	スピーチ	場に応じた話し方、発声の方法について練習する。あるテーマについて、スピーチ原稿を作成する。	
第7週	スピーチ	あるテーマについて、制限時間を設けスピーチを行う。「よい」スピーチについて考える。	
第8週	小論文	ブレインストーミングを始めとする発想法を用いて、あるテーマについて、小論文及び要約文を作成する。	
第9週	小論文	小論文を読み合い、印象に残る文章とは何かを考える。	
第10週	ディベート	競技ディベートの方法を知る。テーマを決め、グループごとにディベート原稿を作成する。	
第11週	ディベート	競技ディベートを行う。「よい」ディベートとは何かを考える。	
第12週	手紙	手紙の形式に関する基本的知識を身につける。	
第13週	手紙	手紙を書く能力を養うとともに敬語について理解する。	
第14週	公文書	公文書の形式に関する基本的知識を身につける。	
第15週	まとめ	様々な表現の形式を振り返り、「よい」表現とは何かを考える。	
試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)